

## 別添位置図 1 「沖島および四双島」

### 【調査位置】

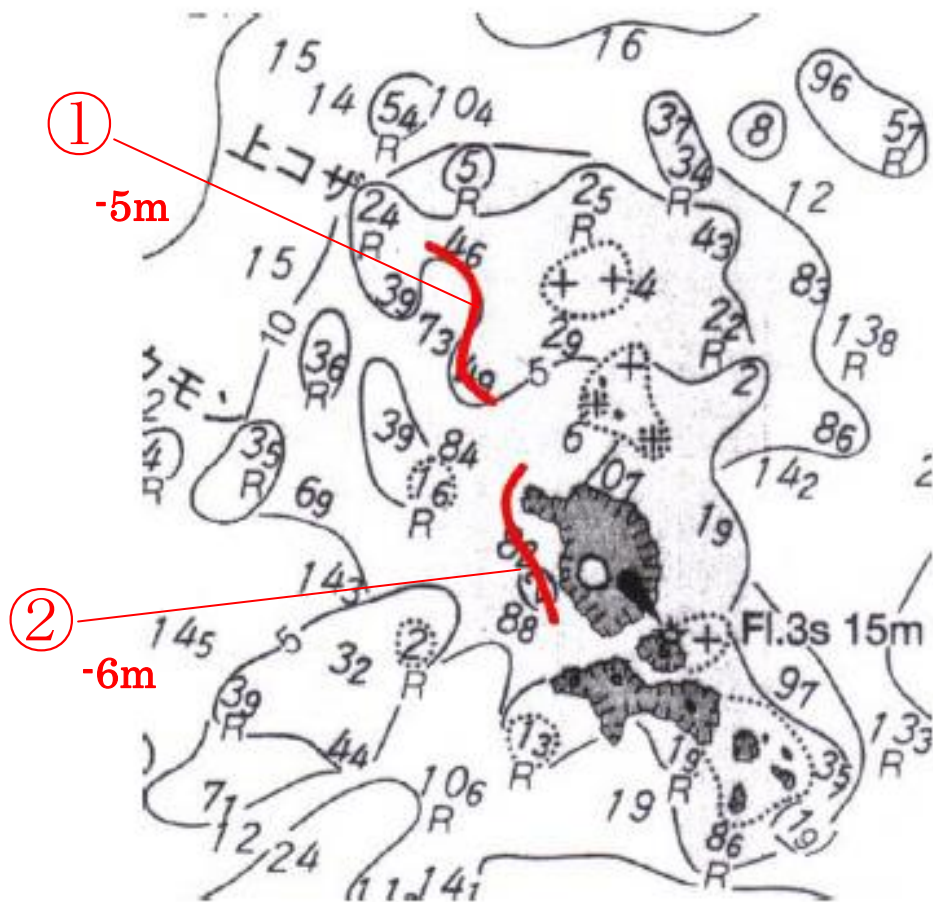
- ①沖島：天神崎より約 2.5km
- ②四双島：番所崎より約 0.6km



## 別添位置図2 「沖島調査ライン」

### 【調査位置】

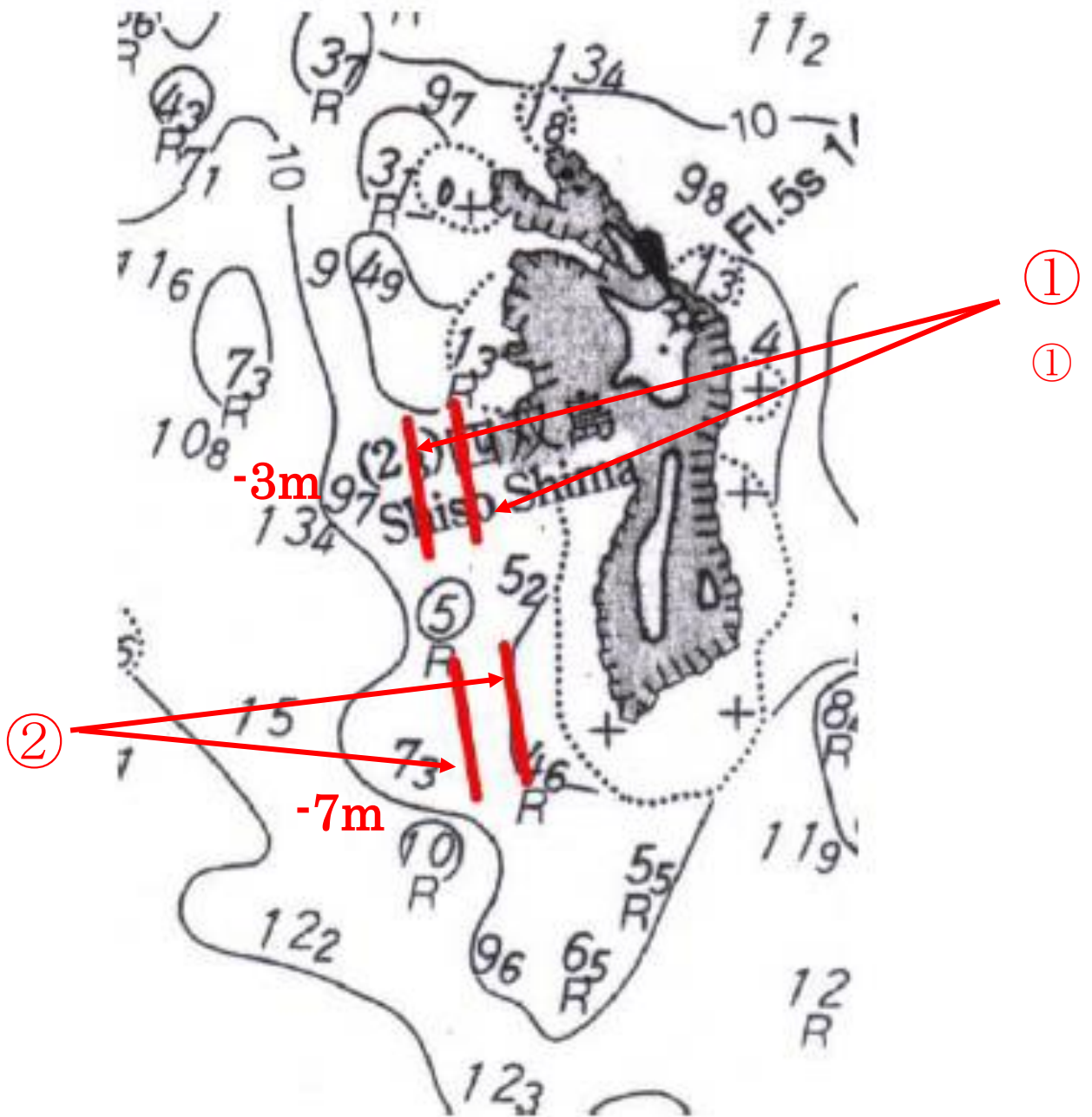
- ①北側の1ライン (水深-5m)
- ②西側の1ライン (水深-6m)



### 別添位置図3 「四双島調査ライン」

#### 【調査位置】

- ①西側の2ライン（水深-7m、水深-3m）
- ②南西側の2ライン（水深-7m、水深-3m）



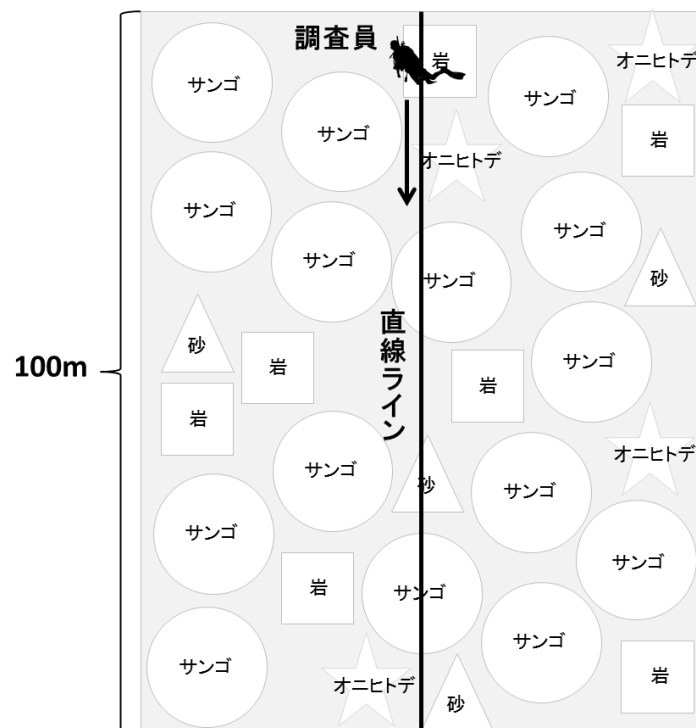


## 別添「調査方法」

### ①サンゴ被度調査

調査位置の海底に引いた、長さ100mの直線ライン直下のサンゴ被度を、テーブルサンゴ、サンゴ死骸、ソフトコーラル、岩質、れき質、砂質等の14種類に、調査員1名が目視により分類し、サンゴ群集の分布状況を確認しました。

【イメージ】



【写真】



調査の様子

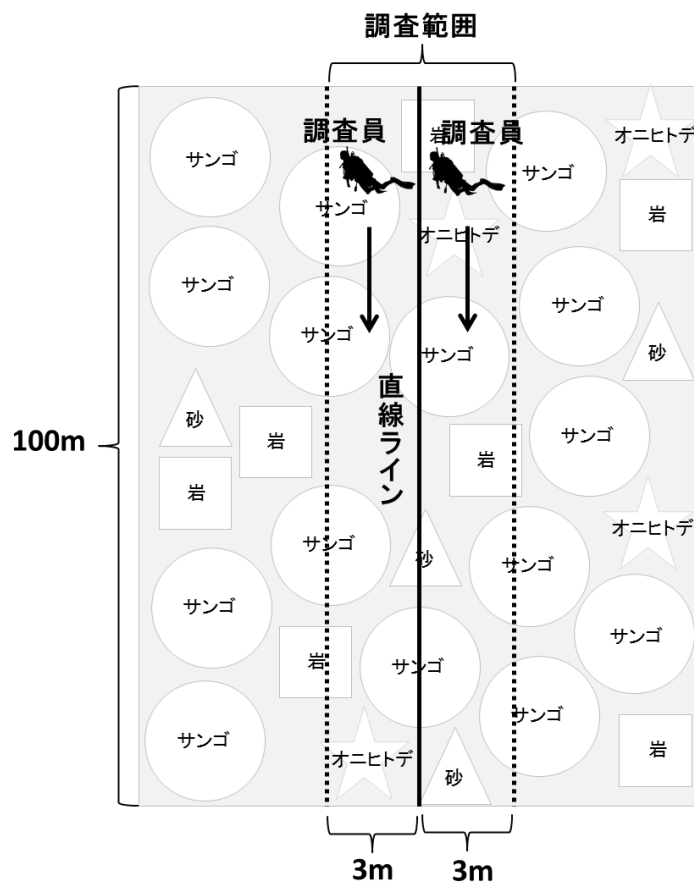


海底の直線ライン

## ②サンゴ捕食動物の生息状況・サンゴ食害状況調査

調査位置の海底に引いた、長さ100mの直線ラインを中心線とした左右3m幅の帯状の調査範囲内（幅6m×長さ100m）で、サンゴ捕食生物の生息個体数及びサンゴの食痕を、調査員2名が目視によりカウントし、記録しました。調査結果より、生息密度を算出しました。

### 【イメージ図】



### 【写真】



調査の様子